日本ラクテーション・コンサルタント協会(JALC)主催

第20回 医師のための 母乳育児支援セミナー

現地(東新宿予定)＋ライブ配信

2025年 **10月18日(土) 19日(日)**

約 **2** ヶ月間 **オンデマンド配信あり**

対象：医学生・歯学生、研修医、若手小児科・産婦人科医・家庭医
母乳育児支援を基礎から応用まで学びたいあらゆる医師・歯科医師

母乳育児支援の岐路
～低下する母乳率と医師の責務～

大会長からのメッセージ

今年「医師セミ」は第20回という節目を迎えます。これまで多くの医師・歯科医師・医学生・歯学生たちがこの学びの場で知識を深め、臨床現場に活かしてきました。しかしながら、それでもなお日本の母乳率は近年大きく低下してしまっています。このまま母乳率が低下すると、未来はどうなってしまうのか。私たち医師はこの流れを傍観していてもいいのでしょうか。

「薬を処方するから授乳は止めましょう」「体重が増えていないから人工乳を足しましょう」—医師の何気ない一言が、母乳育児の継続を妨げることもあります。今回の「医師セミ」では母乳率低下の背景をデータから紐解き、医師としてどのように関わるべきかを皆さんと一緒に考えたいと思います。あらゆる医師・歯科医師・医学生・歯学生にとって、明日から活かせる知識と視点を得られるような魅力的で有意義なプログラムです。記念すべき20回目の学びの場で、新たな一歩を踏み出しませんか？

甘利昭一郎　国立成育医療研究センター、新生児科医、IBCLC

第20回医師のための母乳育児支援セミナー 運営事務局 ビジョンブリッジ内
〒162-0833 東京都新宿区箪笥町43 新神楽坂ビル2階
jalc@supportoffice.jp　03-5946-8575 （受付時間 平日 10:00～17:00）

プログラム案

プログラムやタイトル、演者は(案)であり、変更の可能性があります。ご了承ください。

『母乳育児の今
— 母乳率変遷のデータから紐解く過去・現在・未来』

新生児科医・IBCLC　甘利　昭一郎

『医師が知っておきたい、母乳分泌に関する生理学
— 赤ちゃんにもお母さんにもやさしい支援のために』

産婦人科医・IBCLC　牛尾　江実子

『その“補足”本当に必要？
— 乳児健診で役立つ、人工乳の補足や補完食の考え方』

小児科医・IBCLC　滝島　茂

『支援のポイントはここだ！
— 医師が知っておきたい、ポジショニング・ラッチオン』

小児科医・IBCLC　滝　元宏
助産師・IBCLC　大坪　美保子

『あなたは利用されていませんか？保健医療専門家としての倫理
— 母乳代用品のマーケティングに関する国際規準』

小児科医・IBCLC　瀬尾　智子

『母乳は“特別な薬”
— 早く、小さく生まれた赤ちゃんの母乳育児支援』

新生児科医・IBCLC　木村　献

『どうする、授乳中の母への処方？
— すべての医師が押さえておきたい「母乳と薬」の知識』

新生児科医・IBCLC　柴田　優花

『事例から学ぶ母乳育児支援
— 医師としてあなたが現場でできること』

小児科医・IBCLC　瀬川　雅史

『どう広める？ 母乳育児のエビデンス
— 社会の理解を深める情報発信』

修士：ソーシャルワーク／保健学、博士：保健学・IBCLC　本郷　寛子

【IBLCE教育単位および各学会研修単位の申請を予定】
Academy of Breastfeeding Medicine フェロー資格申請単位
ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会（IBLCE)継続教育単位
日本周産期・新生児医学会　専門医資格認定単位・更新単位（旧制度）
日本専門医機構産婦人科領域講習単位、日本産婦人科医会研修参加証
日本小児科学会　新専門医更新単位 小児科領域講習 （現地受講、ライブ受講のみ）
日本プライマリ・ケア連合学会　専門医・認定医更新のための単位
日本医師会生涯教育単位

【参加申込・詳細】
JALC公式サイトから https://jalc-net.jp
▶「学習会情報」▶「JALC主催学習会」
（参加申し込みは夏に開始予定）

JALCサイト